

令和3年度 活動報告

防災教育推進部門

1. はじめに

当センターでは、本人の防災力の向上や、地域防災に貢献する人を育てることを目的として、共通教育科目において科目を提供している。地域社会貢献のために、公開授業にも提供されており、一般社会人の受講も可能となっている。しかしながら、今年度もコロナ禍の影響により、公開授業は中止している。

そして、この共通教育科目は「防災リーダーの育成」に関わる「防災士」養成の研修講座としても認定されている。これらの単位取得および別途救命講習の修了証取得によって、防災士の資格取得試験を受験できる。しかし、今年度は年明けから新型コロナウイルス感染症オミクロン株の感染が急拡大したことにより、令和4年2月現在、資格取得試験が延期され、救急法の講習も実施できない状況にある。感染状況が改善され次第、実施に向けて調整する予定である。

また、本年度も教員免許状所持者のための教員免許状更新講習も開催し、実施した。

2. 共通教育科目2科目の提供（公開授業にも提供）

(1) いのちと地域を守る防災学I (Disaster mitigation to guard lives and communities I)

開講期：前期／講義形式／2単位／大分類：教養教育科目(教養活用科目)／小分類：統合I(課題発見)／受講対象：全学部／担当教員：松成裕子他13人

授業概要：

授業では、自然災害やその対策について正しい知識を持つと同時に、地域自治体や防災組織が現在行っている防災への取り組みや新しい技術を理解し、災害時にはいのちを自ら守ることができ、かつ支援やボランティア活動を担うことのできる態度・志向性を獲得することを目的とする。この講義は、自然・人文に及ぶ複合的・総合的な「防災学」のかかなりの範囲を網羅するものであり、本学のさまざまな学部・大学院・教育研究施設に所属する「防災学を専門とする教員」がそれぞれの得意分野をオムニバス形式で担当講義する。ただし、今年度はハイブリッド講義として、防災士資格取得希望の学生については、対面授業とし、その他の学生へは遠隔授業にて実施した。

また、後期の「いのちと地域を守る防災学II」と対になる構成となっており、前期の本授業では、災害を知り、それに対する対処・対策を考えることに重きが置かれている。なお、この授業の概要・性格から本授業は、「防災士」受験資格取得科目の1つとなっている。

学習目標：

1. さまざまな自然災害の発生のしくみを始めとして、防災にかかわる知識や技術などを理解し、災害種ごとに説明できる。
2. 災害種ごとに一般的な対策・対処のしかたを理解し、地域の特性に応じておおよそ適当な対策などを選択できる。
3. 万が一に災害が生じた場合、いのちを自ら守ることができ、かつ支援やボランティア活動を担うことのできる態度・志向性を獲得する。

授業内容と担当者：

1. 講義の目的/災害における防災士の役割(医学部保健科;松成裕子)
2. 災害における医療活動(医学部保健科;松成裕子)
3. 津波のしくみと被害(理工学研究科;柿沼太郎)
4. 地震のしくみと被害(理工学研究科;小林励司)
5. 風水害と対策(理工学研究科;安達貴浩)
6. 歴史災害に学ぶ防災意識(教育学部;佐藤宏之)

7. 避難と避難行動（地震火山地域防災センター；浅野敏之）
8. 社会基盤の地震被害（理工学研究科；木村至伸）
9. 土砂災害と対策（農学部；地頭菌隆）
10. 鹿児島島の自然災害史（共通教育センター；井村隆介）
11. 火山噴火のしくみと被害（附属南西島弧地震火山観測所；八木原寛）
12. 島嶼の自然災害（共通教育センター；岩船昌起）
13. 自然体験活動と防災及び避難生活者の健康づくり支援について（共通教育センター；福満博隆）
14. 中山間地域における地盤災害と農地復旧対策（農学部；平瑞樹）
15. 学校教育における防災教育の実情と課題（教育学部；黒光貴峰）

(2) いのちと地域を守る防災学 II (Disaster mitigation to guard lives and communities II)

開講期：後期／講義形式／2単位／大分類：教養教育科目(教養活用科目)／小分類：統合II(課題解決)／受講対象：全学部／担当教員：松成裕子他11人

授業概要：

授業では、自然災害やその対策について正しい知識を持つと同時に、地域自治体や防災組織が現在行っている防災への取り組みや新しい技術を理解し、災害時にはいのちを自ら守ることができ、かつ支援やボランティア活動を担うことのできる態度・志向性を獲得することを目的とする。この講義は、自然・人文に及ぶ複合的・総合的な「防災学」のかなりの範囲を網羅するものであり、本学のさまざまな学部・大学院・教育研究施設に所属する「防災学を専門とする教員」がそれぞれの得意分野をオムニバス形式で担当講義する。そして、今年度もハイブリッド講義として、防災士資格取得希望の学生については、対面授業とし、その他の学生へは遠隔授業にて実施した。しかし、年明けには、新型コロナウイルス感染症オミクロン株の感染急拡大により、すべての学生に対し、遠隔授業の実施となった。

前期の「いのちと地域を守る防災学I」と対になる構成となっており、後期の本授業では、災害にかかわる情報を知り、新たな減災や危機管理の手法を身に着けることに重きが置かれている。また、鹿児島地方気象台、県危機管理課、県原子力安全対策課からの授業を用意しており、行政の防災関係機関の現場対応などを知ることができる。なお、この授業の概要・性格から本授業は、「防災士」受験資格取得科目の1つとなっている。

学習目標：

1. 災害にかかわる情報の種類やその発信・入手方法の概要を理解し、災害種や災害ステージ等に応じてそれらを説明できる。
2. 新たな減災や危機管理の手法を一般的なレベルで理解し、地域の特性に応じておおよそ適当な手法を選択できる。
3. 万が一に災害が生じた場合、いのちを自ら守ることができ、かつ支援やボランティア活動を担うことのできる態度・志向性を獲得する。

授業内容と担当者：

1. 講義の目的/災害における防災士の役割(医学部保健科；松成裕子)
2. 気象災害の監視と予測ハザードマップ(地震火山地域防災センター；中谷剛)
3. 地震に関する知見・情報/災害と流言・風評(理工学研究科；小林励司)
4. 大規模災害と情報通信I(学術情報基盤センター；升屋正人)
5. 大規模災害と情報通信II(学術情報基盤センター；升屋正人)
6. 自然災害に対する行政の危険を防止(管理)する責任(法文学部；森尾成之)
7. 福島第一原発事故の概要と放射線による健康影響(公益財団法人原子力安全研究協会放射線災害医療研究所 主任研究員；山口拓允)
8. 災害情報とリスクコミュニケーション(医学部保健科；松成裕子)
9. トラウマの理解と心理的ケアI(教育学部；関山徹)
10. トラウマの理解と心理的ケアII(教育学部；関山徹)
11. 地域の復旧と復興(法文学部；小林善仁)

12. ハザードマップ(共通教育センター;井村隆介)
13. 鹿児島県の原子力防災対策(鹿児島県原子力安全対策課;西博夫)
14. 火山の監視と防災情報(鹿児島地方気象台;米満俊郎)
15. 鹿児島県の災害と危機管理(鹿児島県危機管理防災課;松崎早博)

(3) いのちと地域を守る防災学 II の特別な講義について

後期に開催される「いのちと地域を守る防災学 II」の1コマについては、環境省の「令和三年度放射線健康管理・健康不安対策事業(福島県外における放射線に係る健康影響等に関するリスクコミュニケーション事業)」として遠隔講義にて開催された。講師は、公益財団法人原子力安全研究協会放射線災害医療研究所主任研究員の山口拓允先生であり、環境省の放射線リスクコミュニケーション専門官としての活動を交え、「福島第一原発事故の概要と放射線による健康影響」と題し、放射線の健康影響について、考えさせられる講義であった。学生には、その後の鹿児島県の原子力防災対策の講義とともに原子力災害の防災を考える良い機会となった。

3. 防災士養成の取り組み

(1) 研修講座相当(認定)の共通教育科目の提供

2. の共通教育科目2科目について、日本防災士機構に研修講座相当と認定してもらう手続きを行っているが、今年度は年明けから新型コロナウイルス感染症オミクロン株の感染が急拡大したことにより、令和4年2月現在、資格取得試験が延期され、救急法の講習も実施できない状況にある。

(2) 救命講習会の実施

防災士資格取得のためには、指定された救急法の講習を修了する必要がある。今年度の共通教育科目受講者向けの講習は実施できない状況にあるが、昨年度の防災士資格試験合格者向けに鹿児島市消防局協力の下、普通救命講習を実施した。

日 時：2021年11月21日(日)9時30分～12時30分

2021年12月4日(土)9時30分～12時30分

場 所：鹿児島大学

内 容：救命措置(胸骨圧迫・人工呼吸・AED使用)の実習、異物除去・回復体位の演習解説

受講者：昨年度 防災士資格試験に合格し、普通救命講習を希望した者18名

(3) 防災士資格取得試験対策

防災士資格取得試験は、『防災士教本』の内容に基づいて行われる。2. の共通教育科目2科目では網羅できない部分があるため、その部分の学習が必要となる。

今年度もそのために補講し、試験対策の予定であるが、感染者数から予測が立たない状況である。

(4) 防災士資格申請者

申請者：令和2年度に防災士資格試験に合格し、申請した者は、15名であった。

(5) 防災士資格取得試験の実施(予定)

受験希望者：防災士資格取得希望者は未定

4. 教員免許状更新講習について

開設講習名：地域防災の最前線

実施日時：2021年8月6日 8時50分～16時45分

会場：鹿児島大学

講師：本センター兼務教員：「地盤災害」 酒匂一成 (理工学域 教授)
「河川災害」 齋田倫範 (理工学域 准教授)
「災害医療」 田松裕一 (医歯学域 教授)

受講生：33名